

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を1名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切にされているか。	7		わかりやすく構造化された環境であるように配慮していますが、改修の余地はあるため、可能な限り視覚的な配慮に努めております。	・屋内で2段の段差が大きいため職員が見守りしながら対応しております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		数時間おきに机、椅子、ドアノブ、スイッチ、手すり等の消毒をおこなっており、衛生環境には十分に配慮し、空気清浄機も設置しております。	・トイレに衣類を自分で履くための椅子などを検討してまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		支援の際は個別の部屋で支援を実施しており、クールダウンができる空間も準備しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	7		月に1回フレクシオン会議をおこない、見直し、反省、今後の目標等を設定、周知をしております。シフト制のため、会議当日には参加できない職員もおりますが、参加できなかった職員には後日情報共有をおこなっております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		定期的に保護者様にはアンケートのご協力をお願いし、ご意見やご意向を把握し、改善につなげております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・毎朝の朝礼があり児童の情報共有をおこなっており、月に1回フレクシオン会議をおこない、見直し、反省、今後の目標等を設定・周知をしております。シフト制のため、会議当日には参加できない職員もおりますが、参加できなかった職員には後日情報共有をおこなっております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や社内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部の研修には参加できておりませんが、今年度は本所で企画制作された研修動画を各職員で視聴することで資質の向上に努めております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		利用開始前のみならず、定期的なアセスメントを適切におこない、課題を把握したうえで保護者様ニーズや児童の状況を分析し支援計画に反映するよう努めております。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援計画作成の際に、職員間で話し合い、情報共有をおこなうことで、児童に合った計画の立案ができるよう努めております。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		児童発達支援計画をもとに各児童の療育プログラムを作成しております。日々のプログラムは職員間で情報共有を図りながら取り組んでおります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		日々の児童の様子を記録として残すことで、過去の分も読み返り振り返ることができるようにしております。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		ガイドラインの支援内容の項目から保護者様とのやり取りを通して得た現在の課題の整理をおこない、新たな課題に向けての具体的な支援計画を作成しております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		活動プログラムについては各職員のアイデアや意見を取り入れながら、季節や年齢に配慮した活動をおこなっております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		職員間で連携を取りながら活動しており、対応する担当職員が状況に応じて集団活動など固定化しないように工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別活動と集団活動を、特性や発達段階、年齢、保護者様のニーズに応じて計画的に組み込んでおります。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		送迎業務などもあり、支援開始前の全職員での打ち合わせは難しいこともありますが、必要に応じて打ち合わせをおこない、児童の様子や状況について話し合い、支援内容の打ち合わせと、支援の目的や注意事項の確認をおこなっております。	
	21	支援終了後は、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		翌日に児童の情報共有をおこなっております。今後も継続しておこなってまいります。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の支援内容や児童の様子は必ず記録しております。記録をもとに支援の改善を図り、職員間で情報交換をおこなっております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的（6ヶ月以内）に必ずモニタリングを実施し、現状の把握をおこない支援計画を見直ししております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7		担当者会議には、児童の状況を一番把握している児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		関係機関と積極的に情報共有、相談をおこない連携した支援がおこなえるよう努めております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要に応じて、電話連絡や訪問をおこない、支援内容や活動内容等の情報共有・相互理解に努めております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		必要に応じて、電話連絡や訪問をおこない、支援内容や活動内容等の情報共有、相互理解に努めております。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		地域の児童発達支援センターとの連携を図る機会が設けられておりません。	今後は地域の児童発達支援センターとの連携を図り、助言をいただく機会を設けてまいります。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		保護者様の中にはプライバシーを尊重されたい方もおられますので、現在は実施できておりません。	今後は保護者様のご意向に寄り添いながら、交流の機会を検討してまいります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		児童の事業所での様子や療育内容は、日々の連絡ツールに記載をしております。また、送迎時にはできるだけその日の児童の様子をお伝えするよう心がけており、保護者様との共通理解に努めております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		日々の連絡ツールや送迎の際、保護者様との会話の中で、児童の様子や支援についてのアドバイスをおこなっております。	保護者様が参加される研修等は実施できておりませんが、保護者様のご意向をうかがいながら、実施の検討をしております。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に運営規程、利用者負担等について丁寧な説明に努めております。また、質問やご不明な点がなくないかを確認しながら進めております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益を優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		児童発達支援計画を作成する際には、保護者様との面談をおこない、保護者様のご意向、ニーズを確認するよう努めております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		児童発達支援計画について、保護者様に説明をおこない、内容をご確認いただいております。同意をいただくようにしております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		半年ごとのモニタリング実施や保護者様から要望があった際に面談をおこなっております。保護者様のお悩み事や困りに寄り添うことができるよう努めてまいります。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		保護者様の中にはプライバシーを尊重されたい方もおられますので、現在は実施できておりません。	今後は保護者様のご意向をうかがいながら、保護者様同士の交流の機会を設けることができるよう検討してまいります。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			保護者様からのご相談や申し入れには迅速に対応できるよう努めております。ご意見は全職員で共通理解に努め、改善策を話し合い、保護者様や児童に安心してご利用いただける環境を目指しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		公式Webサイトでは自己評価を公開しており、同サイトのブログでは、定期的に事業所の様子をお伝えしております。毎月発行の事業所だよりでは、職員間で内容を話し合い、充実した情報を保護者様にお届けしております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		常に意思疎通には配慮し、契約時や日々の児童の様子についてもできるだけわかりやすい言葉を使用するよう心がけております。主に連絡のやり取りには連絡ツールを使っておりますが、送迎時には直接保護者様とお話できるため、より詳しい内容をお伝えしております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		今年度は地域住民をご招待する等の企画運営の機会はありませんでした。	現状は実施できていませんが、保護者様のご意向に沿いながら検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		緊急時の各種対応マニュアルについては、事業所入り口の壁面に設置しております。いかなる状況でも対応できるようにきちんと計画を立て訓練をおこなうことで全職員が対応できるよう努めております。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		業務継続計画を作成しております。また、定期的な避難訓練や研修もおこなっております。	
	47	事前に、服装や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者様に必ず確認をおこない、緊急時には全職員が適切に対応できるよう共通理解を図っております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについても、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギーについては面談時に保護者様より詳細な情報をいただいております。いただいた情報は全職員に周知徹底し、また定期的に情報更新もおこなっております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全計画を全職員が確認し、日々の支援に取り組みながら、定期的な研修や訓練を実施しております。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		保護者様には緊急時の避難経路などについて書面での周知をおこなっております。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハットは事後すぐに全職員で確認しております。その後、記録して定期的に事例を振り返り、対応について話し合うことで再発防止に努めております。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		定期的に職員間で話し合いの機会を設け、支援中にも声を掛け合い、全職員が意識して虐待防止に努めております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		利用契約書に身体拘束の禁止を記載しており、生命または身体を保護するにためによりやむを得ず身体拘束をおこなう場合はあらかじめ文書により保護者様の同意を得ております。		